

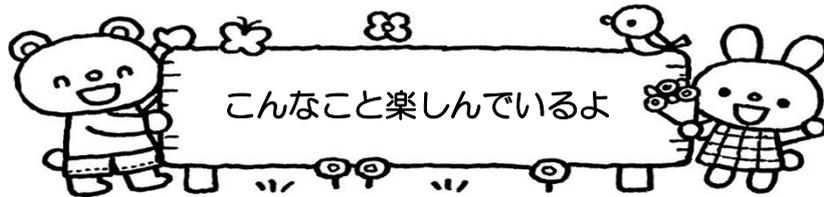


# 職員室だより

富津市立竹岡保育所  
2024.5.9 発行

令和6年度の保育が始まって1か月が過ぎました。昨年度から、この『職員室だより』を地域のみなさんにも回覧させていただいていますが、今年度も“竹岡保育所がこんなことしているんだな〜”と思いながらご覧いただけますと幸いです。

さて、今年度の竹岡保育所は、10名のお友達でスタートしました。園児数の減少は大きな課題ではあるのですが、少人数だからこそ出来ることもあり、おかげさまで日々の生活はとても充実しています。地域のみなさんのご協力で、様々な体験もさせていただいています。今回の職員室だよりでは、昨年度お伝えしきれなかったことと4月の様子をお伝えしたいと思います。



## 【2月】

29日に『餅つき会』がありました。例年ですと、子ども達と職員でお餅をついているのですが、毎年、お花を頂く“竹岡を愛する会”のみなさんと一緒にお餅つきをしたらどうか？と職員から提案がありました。“竹岡を愛する会”会長の斎藤様と相談し、今年度は役員と区長のみなさんに声をかけさせていただきました。当日は5名の方にお越しいただき、子ども達と一緒にわらべうたや餅つきを楽しんでいただきました。（広報ふつつ4月号に掲載されています）みなさん、孫を見るかのような温かいまなざしで見守って下さり、『地域で子どもを見守りましょう』とはまさにこのことだな・・・と思いました。ありがとうございました。



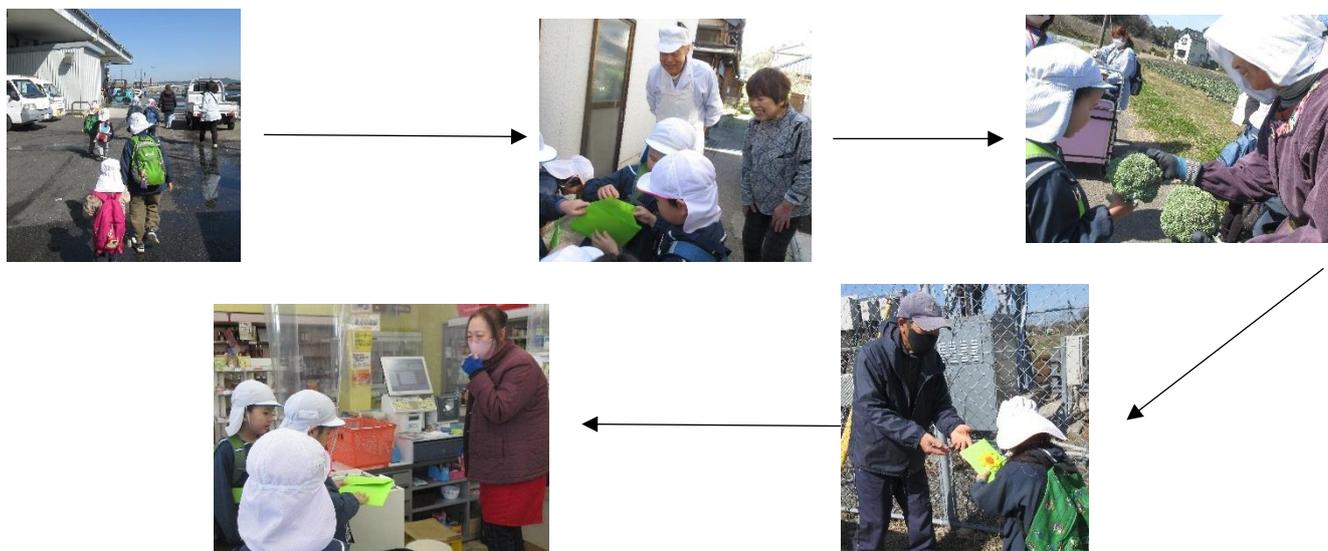
## 【3月】

5日に市役所訪問に行きました。これは、年長児が作ったネームプレート（Name Plate）を1月に高橋市長にプレゼントしたところ「市長室に飾らせてもらうから、見に来てくださいね」と声をかけていただいたので、早速伺いました。市長室の出入り口に飾ってくださっており、お客様にも好評とのこと子ども達も喜んでいました。

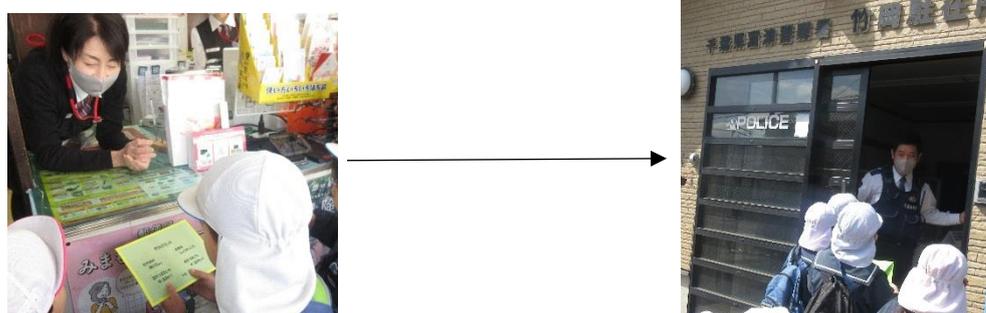


11日は『メモリアルツアー』がありました。3月で竹岡保育所を卒園する年長のお友達との最後の思い出作りです。今年度は、保育士がサプライズを仕掛け、子ども達にとって馴染み深い竹岡の地を巡るツアーを考えました。この企画を行うにあたり、地域みなさんに様々なご協力を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

メモリアルツアーの出発点は、保育所。ちょっと派手な封筒を見つけたところから始まりました。その封筒の中に入っている写真をヒントに、いざ出発。写真の岩がある北町の磯へ向かいました。そこには次のヒントがあり、子ども達はそれが漁業協同組合であることに気づきました。漁業協同組合で次のヒントをもらおうと、そこは・・・すっかり顔なじみの久治製パンの白井さん。白井さんご夫妻が上手にお芝居をして下さり、子ども達はまた次のヒントを受けとります。次は保護者の橋爪さんにご協力いただきました。川沿いを進んで、次は飯田さんの畑だったのですが、子ども達は近くで農作業している方に声をかけるというハプニングが・・・(笑) 農作業をされていた方が、卒園児のご家族(川口さん)だったこともあり、収穫したばかりのブロッコリーを頂きました。ありがとうございました。ブロッコリーを抱えながら、飯田さんの畑に到着すると、飯田さんも職員がお願いしたように子ども達とやり取りをして下さいました。子ども達もすっかり飯田さんと親しくさせていただいています。飯田さんにももらったヒントは、三十郎商店でした。営業中にも関わらず、子ども達とやり取りして下さいました。



ここから先は、以上児のお友達だけでお出かけしました。三十郎商店の次は竹岡郵便局。残念ながら局長さんとお会いできなかったのですが、子ども達にプレゼントを用意して下さいました。ここでは、ヒントだけでなく事前に職員がお願いしておいた『小学校行きの切符』も渡してもらいました。いよいよ最後は・・・保育所のお隣の駐在所です。橋本さんには子ども達に宝箱を渡してもらいました。こうしてめでたくゴールしたのですが、子ども達にとって、大人と会話することも勉強です。社会の仕組みに興味を持ったり、挨拶や礼儀を学んだりする機会にもなります。年長さんの思い出としてだけでなく、1年のまとめとして、このような機会を設けていただきました。ご協力ありがとうございました。



そして、令和6年度



『桜のトンネル道』『富士山が見える磯』とともに、竹岡保育所の1年がまた始まりました！豊かな自然と温かな地域の方々と一緒に、この1年も楽しく過ごしていきたいと思えます。

#### 【4月】

13日に進級パーティー『たけおか 春の米まつり』がありました。昨年度、チャレンジして失敗に終わったバケツ稲に今年もチャレンジします。その第一歩として、土づくりと種まきをおうちの方と一緒に行いました。バケツに土と水を入れ、ちょうどいい具合になるまで混ぜます。おうちの方は、泥に触る機会もほぼ無いと思いますが、躊躇することなく、泥に手を入れる姿を見て、さすが竹岡の保護者！と思った職員です。

数日後、せっかくおうちの方と種まきをしたのに、スズメに食べられるというアクシデントが発生。しかし、これは子ども達と考える絶好のチャンスなので「どうしたらいいか？」ということを話し合いました。子どもならではのアイデアがあったり、おうちでも話題にしてくれたり、米作りをみんなで楽しむきっかけになってくれているようです。（まずはネットをかけて様子を見ています）



16日には、竹岡保育所の畑の先生“込宮さん”の山で、たけのこ掘りをさせていただきました。込宮さんのお孫さんは1年生になったのですが、今年度も畑の先生としてご協力して下さることととてもありがたく思います。そして、1年生になった大晴君。みんなが来るなら・・・と前日におばあちゃんと山に行き、掘りやすそうなたけのこに目印をつけてくれていたそうです！ついこの間卒園したばかりなのに、立派な先輩としての行動にとっても感激しました。こういう優しさが小さい子の見本になっていくんだろうな・・・と改めて思いました。

大晴君がつけてくれた目印は、サルにとっても目印となってしまったようで、いくつか食べられてしまいましたが、込宮さんにたけのこがある場所をおしえてもらい、たくさん掘ることができました。山の斜面をあがる時は、年長さんが小さい子の手を引っ張ってあげ、協力する姿も見られました。ただたけのこを掘るだけでなく、その活動でたくさんの成長が見られることが嬉しいですね。込宮さん、ありがとうございました。



19日は竹岡にお住いの三橋さんのご協力で、馬耕体験をさせていただきました。子ども達から「馬が来てるんだよ」という話は聞いていたのですが、その馬がどんなことする馬なのかかわからずにはいません。保護者会長の石原さんが三橋さんに繋いで下さり、今回、馬を見せてもらいに伺うと、岩手県遠野市から馬耕を継承されている岩間さんと雄の馬 2 頭が来てくれているとのこと。今では馬耕を継承されている方も少ないというお話でした。そして、その場で三橋さんから「体験してみますか?」とありがたいお誘いを頂き、以上児のお友達が体験させていただきました。

子ども達は、マザー牧場で見ると違って、体が大きく足も太くて立派な馬に圧倒されていました。職員は、きれいな毛並みと瞳にうっとり。馬がこういう仕事をするのも初めて知り、また、馬の持っている力のすごさも体感することができました。まさに、馬力です。貴重な機会を作ってくれた三橋さん、岩間さん、改めて感謝申し上げます。



25日、26日は連続での交流保育でした。25日は、中央保育所が磯遊びをしたいと来てくれました。中央保育所との交流保育は3年目になります。年に数回、一緒に遊んでおり、すっかり仲良しになりました。特に年長さんは、一緒に天羽小学校に行くお友達です。少人数の保育所だからこそ、今から交流を持って、仲間を増やしていきたいと思います。この日は、雨が降った翌日だったからか、思ったほど潮が引いていなかったのですが、アメフラシやシオフキを見つけたり、貝殻を拾ったりして楽しみました。岩場を歩くことは、平均台を歩くことより難しいです。自然の中で遊びながら、いつの間にか、体も鍛えられているなんていいですね♪最高の保育環境です。



26日は、こちらからふつつんバスに乗って中央保育所へ行きました。この日の目的は、みなと幼稚園との3園交流です。今まで、幼稚園と保育所が交流することはなかったのですが、同じ天羽地区の子どもを預かる施設として、同じ天羽小学校に行く仲間として、交流会を計画しました。子ども達は、初めて遊ぶ遊具や玩具に大喜び。一緒に遊ぶうちに、すっかり仲良くなりました。「また、遊ぼうね」と話しており、今度はぜひ竹岡へ・・・と声をかけています。中央保育所で昼食を食べた後は、天羽小学校にも顔を出しました。校長先生が「卒園児に会って行ってあげてください」と声をかけて下さり、1,2年生と再会させていただきました。入学してまだ1か月経っていないのに、すっかりお兄さんの顔になっていた大晴君と孝亮君。保育所時代に中央保育所と交流をしていたことで、小学校生活のスタートがとてもスムーズだったようです。これからも、交流保育は続けていきたいと思っています。

こうして、令和6年度もにぎやかにスタートしています。今年度も、地域みなさんに見守っていただきながら、恵まれた自然環境を活かした保育を展開したいと思います。保育の様子はこの『職員室だより』でお伝えしていきますので、どうぞみなさんでご覧になってください。